

# The Episode of Oil Massage⑩**効果の70%はオイルから!**

体質研究所主宰 松原秀樹

開業してオイルマッサージを始めた当時は、オイルマッサージをしている治療院はなく、エステサロンでさえオイルを使用していなかった。

私は、自身の身体に“より多くの生命エネルギーを吸収する”ために、「どうしたら多量のオイルが浸透するか? どうしたらコリや痛みが軽減するか? そしてマッサージしながら骨格の矯正効果もあるようにするにはどうすればよいか?」などといったことを試行錯誤しながら、より効果的なマッサージ法を探っていった。

合気道の秘訣を活かして、圧のかけ方や方向などを工夫していき、独自のマッサージ法を確立していった。それは、通常のマッサージ常識とは正反対である。

通常マッサージは、『前後の体重移動』で行なわれているが、これが効かない最大の理由だ。**“体重を乗せると、圧は弱くなる”**のだ!そのため、**“表面的”で奥まで力が届かない。**

だからコリも取れず、オイルも大して浸透しない。そして圧力がみんな頭に来るので、頭痛や鼻づまりの原因になる。さらに体温が上がらないので身体が冷えて、風邪を引いてしまいかねない。

また、方向は『心臓に向って』が常識とされているが、これも全然楽にはならない。腕や脚を心臓に向けてマッサージすると、腰や首が詰まって動きにくくなってしまう。

私が開発したマッサージ法は、イスに腰掛けて体重をまったく乗せないで、過大な圧をかけられる。そのため、短時間で大量のオイル(生命エネルギー)を皮下に浸透させられ、コリが速やかに消失し、体温が上昇して冷えが取れる。

ただし、この特殊な圧のかけ方(下圧)をマスターするには、“合気の訓練”が必要だ。

肩甲骨周囲のシコリは、いかなる病変にも関与しているので、この部位のコリを消失させる意義は実に大きい。

**病んでいる人やどこかが痛い人は、必ず肩甲骨の周囲が鋼鉄のようになっている。**

すると背骨の両側を走る「交感神経幹」が絶えず過剰に緊張した状態になるため、①胃腸の働きが悪くなり、②アドレナリンが過剰に分泌されて血圧・脳圧が上がり、③イライラして怒りっぽくなり、不眠症になる、④末梢血管も細くなるので、手足が冷えて、⑤免疫力も低下する。過労死する人は、例外なく肩背間部がダイヤモンドのように硬い。

五十肩は明らかに、肩甲骨周囲が硬くて、肩甲骨が前方にずれている。腰痛や股関節痛・ヒザ痛なども、肩甲骨周囲のコリが原因であることが多い。また、頭痛や鼻詰まり、扁桃腺の腫れなども、肩甲骨のコリが大きな背因になっている。

したがって、肩甲骨のコリを消失できれば、ほとんどの病変が楽になり快方に向かうのである。ところが、それができる施術というのは、私のオイルマッサージ法以外にはないだろう。

「開節法」を考案して12年たった今でも、実は“治療効果の約70%は、オイルマッサージで出している”といっても過言ではない。

当院では、『**整体マシン3種（20分）⇒脊柱オイルマッサージ（シコリが消失するまで）⇒開節法の手技**』という流れで施術している。

背骨のオイルマッサージが終わって、肩甲骨のコリがなくなった時点で、もうかなり全身が楽になっているのだ。肩甲骨のコリがなくなると、交感神経の緊張がゆるんで『副交感神経モード』になる。その結果、胃腸の働きが良くなり、血圧が下がり、手足の血管が拡張し、免疫力が高まり、脳からは成長ホルモンが分泌される。

筋肉がゆるんでいるから骨を揺らすのも楽で、矯正が楽に行なえ、効果も高くなる。

その上オイルマッサージは、適用範囲が実に広い。矯正ができない人たち…例えば、関節にボルトが入っていてまったく動かせない・リウマチで患部に触ることもできない・圧迫骨折して横になれない…などという場合でも、オイルがあれば何とか対処できる。ヤケドでも切り傷や古傷でも湿疹でも、処置が可能だ。